

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



岩井やすのり

プロフィール 1970年(昭和45年)生まれ 48歳
早稲田大学大学院 政治学研究科修了
H27年 千葉県議会議員 2期目当選
県土整備常任委員、県視覚障害者協会評議員

岩井やすのり 議員事務所

TEL: 0476-36-7799

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23(栄町役場前大山ビル 2F)

大型車両規制の穴 違法車両が木下市街地に

●布佐地区の面的規制 狭く設置で大型車をブロック

JR 成田線をくぐる県道千葉竜ヶ崎線バイパス、いわゆる布佐アンダーパスが開通したのは昨年3月のこと。同県道は利根川を渡る栄橋手前の布佐地区では市街地を通過し、線路とも平面交差していたこと等から、地域の渋滞解消策として期待されてきたものでした。

ところで、同アンダーパスの開通と時期を合わせ、国道356号我孫子市布佐地区に狭さくが設置されています。狭さくとは、あえて道幅を狭くするために道路の両側に置かれる工作物のことで、大型車両の流入を防ぐことが目的です。そもそも我孫子市布佐地区や印西市木下地区では、地域一体として大型車両の進入を規制する「面的規制」が行われてきており、狭さく設置によりアンダーパスを利用した千葉NT地区と布佐、栄橋方面と

の大型車の行き来をシャットアウトしたのです。

●アンダーパスう回車両が木下地区に多く流入

しかし、そのしわ寄せを受けているのが木下地区の市街地。アンダーパスを利用できない大型車が、道幅が狭く歩道も整備されていない同地区に多く流入し、歩行者や自転車利用者など近隣住民に、接触事故等の深刻な危険を招いているのです。

布佐地区に設置された狭さくは、警察による大型車両への進入規制にあたるわけですが、一方で木下市街地に向かう違法大型車両への取締りの不十分さが穴となっています。現在、県警と話し合いを続けているところですが、近隣住民が安心して生活できる住環境を取り戻せるよう、早期の対策を強く求めてまいります。



昨年3月に開通した布佐アンダーパス。成田線の平面交差や我孫子市

布佐地区の渋滞の解消に一定の効果をもたらした。



国道356号、我孫子市布佐付近の狭さく(ハードポスト)。布佐アンダー

パスの開通に伴い設置されたもので、同アンダーパス等への大型車両の進入を防ぐためのものとされる。



栄橋南詰交差点には、一部に矢印式信号が設置されておらず慢性渋滞に。

そもそも、同交差点には大型車両の進入ができないことになっている。



印西市大森、JR木下駅近くの市街地。道幅が狭い上、大型車両の違法流入も

多くみられるため、歩行者や自転車利用者が危険を強いられている。大型車の取締り徹底が求められる。

視察費の計上はゼロ～岩井の29年度政務活動費報告

項目	支出(円)	内容
調査研究費	108,147	調査活動に関わるガソリン代、高速道路料金 ※視察費の計上はなし
資料購入費	133,417	政務に関わると認められる書籍購入費など
広報費	1,873,103	HP関連費用、いわちゃんポスト作成費、いわちゃんポスト配布費用
事務所費	1,000,940	事務所家賃、事務所水道光熱費、事務所暖房用灯油代など
事務費	473,602	コピー機リース代、事務所電話代、駐車場代、文書郵送代など
人件費	570,093	政務活動補助のための事務所職員人件費
合計	4,159,302	

3月末に締め切れ、4月末日までに収支報告書を提出した29年度政務活動費(計420万円)において、岩井は広報費187万円、事務所費100万円など計416万円を支出する一方、視察費の計上はありませんでした。

●県政報告紙の作成・配布に注力、視察費計上なし

岩井の平成29年度の政務活動費使用額のうち、人件費の約57万円は主に事務所職員給与に充てたもので、一昨年の平成27年度の約105万円からほぼ半減となっています。事務所費約100万円は、事務所家賃(6.4万円×12=76.8万円)の他、水道光熱費や事務所の契約延長更新料などです。また、事務費の約47万円は駐車場代や電話代などが相当するものですが、印刷機のレンタルを解約したことで同25万円余りの支出減となっています。

岩井の政務活動費の使途として特徴的なのは、県政報告紙の作成に関わる広報費の占める割合が大きい一方、

一部に「カラ出張」や「観光旅行化」が問題視されてきた視察費の計上がないことです。

広報費に関しては、「いわちゃんポスト」を手作りで作成する等してコスト削減を図っていますが、年15回、計45万枚分の発行で187万円余りと項目別で最多となっています。按分がない(※4コマ漫画参照)ことから議員による支出が多くなりがちな視察費ですが、岩井はこの支出がなく、聞き取りなどの必要から現場を訪れた際には、現地までのガソリン代、高速料金のみ計上しています。

●独自調査で、新聞折込での「押し紙」リスク対策

ところで、近年は一部新聞販売店で「押し紙」が行われていると言われ、先日の週刊誌記事でも取り上げられたばかりです。押し紙とは、新聞販売店が実販売部数より多めの部数を公称することで、依頼者が実際には配られない折込費用まで支払わされるリスクが生じます。

岩井はこの押し紙リスクを回避するため、新聞折込の仲介業者に丸投げすることはせず、定期的に各新聞販売店に連絡し取扱い部数を独自調査。すると、中には仲介業者とかけ離れた数字を明かす販売店さんもありまして、公称部数と一致していたとしても不自然に多いと思われるケースもあったりするので。

これらの状況を判断しながら、こちら側で新聞販売店ごとに適切と思われる配布部数を指定しているため、印西市と栄町での新聞折込数は1回あたり2万5千枚弱と、販売店の公称部数よりかなり少なめ。政務活動費という公金を使用させていただいている立場であり、慎重な運用を心がけているところです。

なお、平成29年度の政務活動費の使用総額は415万9千円余りであったため、残余となった4万698円は既に返却手続きを済ませております。

政務活動費の按分とは

